

二月は一年の中で最も寒い月と言われています。このような中、ご家族の中には受験を目前に控えた人もおられるかと思えます。ご健闘お祈り致します。

さて、今回は「高齢者の抱える生活課題と対応」というテーマの第四回目。今月は「付き合い」です。付き合いといっても、高齢者との付き合いでなく、高齢者がいかに人と接することが大切かわかっていただければ幸いです。

なお、内容についての質問やご意見がありましたらどうぞお気軽にご連絡下さい。

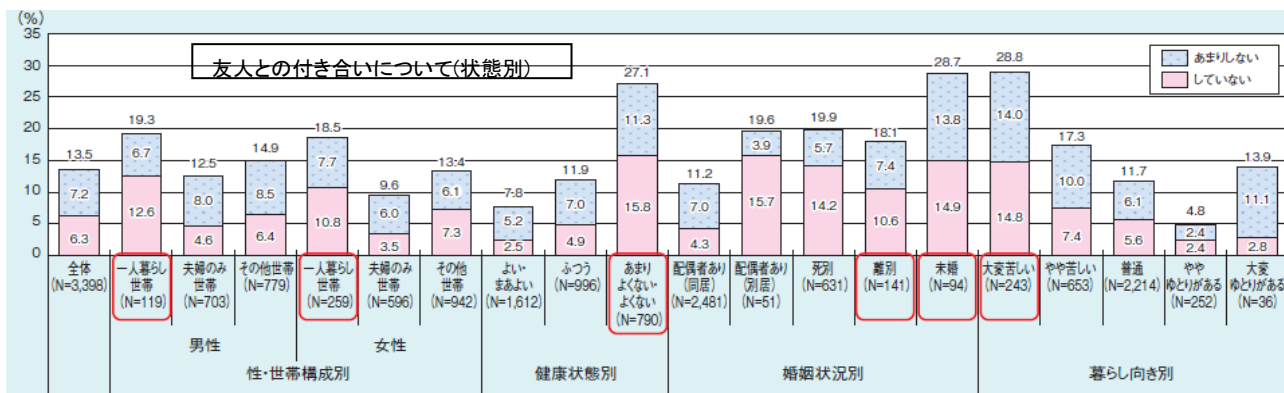
- お金
- 住居
- 食生活
- 付き
合い
- 外出
手段
- 生き
がい
- 病氣
介護
- 家督
相続
- 死の
迎え

① 高齢者の社会的孤立

若い人でも、人との交流のない生活は生きがいや張り合いを感じなくなることはよくあることです。とりわけ、高齢者ではそのような現象の可能性が高く、社会的な孤立に陥りやすくなっています。その特徴として次の5点が挙げられています。(高齢者白書22年度)

- a. 対象者は、単身世帯、未婚者・離別者、暮らし向きが苦しい者、健康状態がよくない者
- b. 「日頃の会話が少ない」(2~3日に一回以下)者は、全体で7.9%である一方、単身世帯では30%
- c. 「困った時に頼れる人がいない」者は、全体で3.3%である一方、男性単身世帯では24.4%
- d. 「友人との付き合いが少ない」者は、全体では13.5%である一方、未婚者では28.7%、暮らし向きが苦しい人では28.8%
- e. 「近所とはほとんど付き合いがない」者は、全体では5.9%である一方、男性単身世帯では21.6%

このような社会的孤立にある高齢者は、最近ニュースで話題になっている、「孤独死」「高齢者犯罪」「消費トラブル(訪問販売等)」の問題素地になっており、また生きがいや尊厳といった外部から見えない高齢者の内面にも深刻な影響をもたらしています。



資料：内閣府「高齢者の生活実態に関する調査」(平成20年)

② 高齢者の「つながり」と「支えあい」

このような問題素地を低くするためには、特に定年後のサラリーマン対策が必要と考えます。これらの対応を行うことにより、いざそのような環境になっても悠然と対応できる力をつけることが肝心です。これらは定年になってからより50歳代から心がけるようにしたいものです。

対応策

- a. 仕事を引退すると、生活の中心は職場から地域に変わります。地域デビューによって、地域社会での新たな自己実現の舞台とすることに心がける
- b. 学習の機会を作り、自己探究心の向上と共通テーマでの仲間作りをすることに心がける
- c. 家から外に出て、いろんな世代の人と触れ合う場に参加し、刺激を得ることに心がける

●お問合せはこちらまで

info@kitawel.com

HK Welfare

北村 社会福祉士事務所(北村 弘之)

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3-7-7

TEL:090-5340-0364 info@kitawel.com